

# 結 索



結索とは文字のとおり、索（ロープ）を結ぶことを言い、ロープワークといえは聞き覚えがある、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。結索の教務では、船乗りとして知っておくべき、基本的な結索法（結び方）を学びます。あまり複雑な結びはありませんが、船の運用作業でも使う結索はいい加減な結び方をして解けてしまったら思いもよらない大きな損害を被ったり、命の危険にさらされてしまうこともあるので、甘く見ず適切に行わなければなりません。







「用意！」の号令がかかると上の写真のような姿勢をとります。まるでウル○ラマンの変身ポーズのようですが、真面目に取り組んでいます。この姿勢はちゃんと意味があって、索を持つ位置も決められています。号笛の「ピッ」という合図とともに結索を始めます。





結び方ごとに制限時間があり、時間内に結び終えなくてははいませんが、最初は時間は考えずにしっかりと結べるようになったら時間内にできるようになるまで訓練します。たくさん練習して結び上手になりましょう。



お

ま

け



「長さこんぐらいやんな？」

「できたやつ手え挙げやー」「はーい」

「ちゃうよ、これはこうして、こう！」

※セリフはすべて撮影者の想像です。喋り方は...気にしないでください。